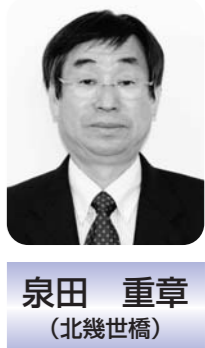


町議会 新たな出発



3・11の発災以来2年間が過ぎても、賠償と除染が進まず、私たちの心は癒やされません。将来の浪江を担う子どもたちのために、町民の思いが込められた復興計画実行に必要な予算を、一刻も早く獲得すべきです。今こそ議会はアイデアをもって、行政と車の両輪のごとく声を出して、働かなければなりません。



町民の皆さまのご支持を得て4期目の当選をさせて頂きました。ありがとうございます。今後の4年間は町の将来を左右する、あらゆる課題の決断が次々と迫られます。賠償や除染、町民の健康など粛々と進めていく課題と、新たな町づくり、復興住宅、生活再建など町民の意見を伺いながら進める課題を整理し議論を重ねます。また決断のタイミングの見極

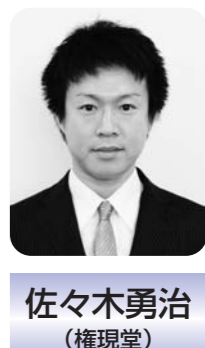


めが大変重要です。そのような難題に果敢に取り組み事をお誓い申し上げます。

町を存続するために官民一体となって頑張る事が大事だ。時間が経てば経つほど戻る人は少なくなってしまう。時間に焦りを感じる。除染、インフラ整備は地域一体となって進める事が大事だと思ふ。



全町避難という異常な状況の中、町を原風景に戻し、ふるさと浪江を美しくするため、あらゆる手段を尽くす覚悟です。また、二元代表制の一翼として、自治体の意志決定や執行機関の監視・評価機能だけにとどまらず、議会の政策形成機能を十分に発揮していくために、自



己研鑽に努め、議会の積極的な改革を図ってまいります。

私は、「常識にとらわれない強い意志 手に入れよう みんなの未来」を合言葉に、①除染効果の判断・効率の向上をさせる。②放射線量が震災以前に戻るようにする。③避難生活に合った行政サポート(二重生活者等)をする。震災以前の浪江町を取り戻すため、以上の三項目について全力で頑張ります。



このたびの改選で4期目となり、ようやく町の色々な事が解り始めて、政策や提言に力を発揮できる様な立場になりました。困難な避難にもめげず、一日も早い町の復旧・復興、また、一人ひとりの心の復興を目指し、新たな気持ちで、真摯に課題に取り組みしていきたいと考えています。見かけたら気楽に声を掛けてください。



三瓶 宝次 (下津島)

福島第一原発事故以来、二年が経過いたしました。国および東京電力は、我々の要請・要求に一つ応えていない状況でありますので、引き続きすべての責任を強く求めていきます。今後の町民の生活再建、賠償問題、新たな生活の場の確保、町民の健康管理体制の構築など、これらの課題の早期解決に向けて取り組み、今後の町の復興、そして住民の生活を守るため、全身全霊傾注し、その職責を果して行く決意をしております。



馬場 績 (赤宇木)

復興住宅の早期建設、賠償や、医療・介護など、被災者の生存権・財産権・幸福権を求めることは当然です。「事故収束宣言」の撤回と「原発ゼロ」は「オール福島」、「オール浪江」の声です。加害者である国、東電にハッキリものをいう議員として、これからも町民の負託にこたえる決意であります。



鈴木 幸治 (戸)

一、国の思惑に屈しない「強い浪江町」の体制づくり。一、馴れ合いや型にはまった議会ではなく、原点である「町民本位」の議会活動。私は、残りの人生を東日本大震災および原発事故と闘う覚悟で立候補しました。これからの4年間、どんな小さな事でも、全力で取り組みますので、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



平本 佳司 (立野)

先般の町議選において選出させて頂いたいただきました「平本佳司」です。

行政、政治は素人ですが、今、町民が町行政、町議に対し、何を望んでいるのかをしつかり町民と対話をしながら、避難生活であっても安心して生活ができて、今、本当に何が必要で、何を最優先に取り組むべきかを考え、町行政の動きをしつかりチェックし、町民の皆さまが帰還の有無にかかわらず、町民それぞれの考え、選択を尊重し、どこでも生活再建ができる



松田 孝司 (谷津田)

よう、精一杯努力していく所存です。今後とも、ご指導ください。

このたび町づくりに参画させて頂いたたく事になりました。どこまで期待に応えられるかわかりませんが、私なりに常に前向きに動いていきたいと思えますのでよろしく願っています。



山崎 博文 (権現堂)

町復興計画では、「町民がどこに住むにしても一人ひとりの命と暮らしを守る」、「将来を担う子どもたちの苦しみを無くしていくこと」、「人それぞれの考えを尊重すること」、「多様な想いに沿った選択ができるようにしていくこと」と、四つを復興の基本としています。私もこれらの考え方を基に、



山本幸一郎 (末森)

皆さんの声に耳を傾け、復興に向けて取り組んでいきます。

今回の町議選で、2回目の当選が出来たことに感謝しております。前回とは違い、行政運営や議会活動も、十分に把握出来ているので、前回以上に、町のため、町民のために働けると思っています。また、今後の4年間は、町の行く末を左右する大事な時期なので、全議員が協力し、これまでに以上に町民の声(賠償・除染・復興など)を、国・県・町に伝えていきたいと思っています。



吉田 数博 (荻宿)

原発事故による理不尽な避難という状況下、賠償問題や生活などの憤懣を、全て飲み込んで生きておられる町民の皆さまの思い、声を、しっかりと受けとめ、国県・町・東電に要望、要求を続け町民の代弁者として、対策を求めてまいります。町議選で示した約束を実現するため、覚悟をもって、取り組



若月 芳則 (立野)

んでまいります。

このたびの町議会議員選挙において、多くの皆さまのご支援を持って再度当選をさせて頂いたできました。今回の議員の任期に当たる4年間は、まさに町民が、今後の人生を、生活をどう送ってゆくのかが、決断をせざるを得ない大事な時期となります。議会を通じ、町民がその判断ができる環境整備をいかに進めてゆけるのか、それを第一に活動してまいります。



渡邊 泰彦 (権現堂)

浪江町を取り戻す。このために4年間の議員活動のすべてを使います。町の地域の復興だけでなく、町の住民の復興にも力を入れます。商工業や農林水産業に従事していた町民が、震災前のように家業で生計を立てる。東電の賠償金に頼ることなく自立できるよう、支援制度や補助事業を利用するためのサポートをします。